

[6626/5A-160-001]

Ver.12

5.免疫学的検査 >> 5A.免疫グロブリン>>5A160 クリオグロブリン

クリオグロブリン

cryoglobulin

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6626

001

クリオグロブリン(定性)

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

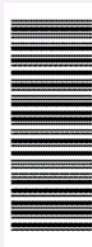
ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダイテスト

注 80 外

--	--

クリオ.



血液

中検外1

*_*_*_*_*-70001

**_*_*_*_*_*

C3 3ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[6626/5A-160-001]

Ver.12

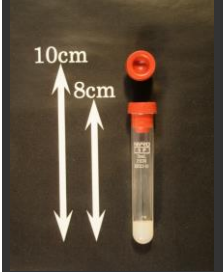
5.免疫学的検査 >> 5A.免疫グロブリン>>5A160 クリオグロブリン

クリオグロブリン

cryoglobulin

連絡先 3764

01	C3	凝固促進剤+血清分離剤(レンガ色)	
採取材料	血液	採取量	3 mL
遠心分離		遠心	
測定材料	血清	測定必要量	0.3 mL



採取容器について

検体採取について

採血から血清分離までは37℃で行ってください。

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	冷蔵	4週				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間（検体量ある場合のみ）

（分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照）

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

[6626/5A-160-001]

Ver.12

5.免疫学的検査 >> 5A.免疫グロブリン>>5A160 クリオグロブリン

クリオグロブリン

cryoglobulin

連絡先 3764

検査機器	
検査所要日数	4～5日
検査部門・委託先	外部委託（LSIメディエンス）
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	血液
検査方法	ゲル内拡散法

生物学的基準範囲			
	男性	女性	単位
00	クリオグロブリン	陰性(-)	陰性(-) (定性・判定)

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

 クリオグロブリンとは、37℃以下に冷却すると白色沈殿、あるいは凝固（ゲル化）し、37℃以上に加温すると、再び溶解する病的免疫グロブリン（M蛋白）、あるいは免疫複合体の一種である。
 クリオグロブリンは、Mタンパクからなる単一型と数種類のタンパク成分からなる混合型に分けられ、混合型はさらに単一クローン性と多クローン性の免疫グロブリンの結合型（単一クローン性混合型）と、Mタンパクを認めない多クローン性混合型の2つに分類される。このうち、単一型は、多発性骨髄腫と原発性マクログロブリン血症などにみられる。
 単一クローン性混合型は、原発性マクログロブリン血症の他、リンパ増殖性疾患、シエーグレン症候群などで認められる。多クローン性混合型は免疫複合体型でもっとも頻度が高く、免疫複合体病や自己免疫性疾患の原因の解明の指標として用いられる。

異常値を示す病態・疾患

陽性を示す疾患-1)膠原病
 SLE, 悪性関節リウマチ, 関節リウマチ, 強皮症, 皮膚筋炎
陽性を示す疾患-2)血液疾患
 悪性リンパ性白血病, 原発性マクログロブリン血症, 多発性骨髄腫, 伝染性単核

[6626/5A-160-001]

Ver.12

5.免疫学的検査 >> 5A.免疫グロブリン>>5A160 クリオグロブリン

クリオグロブリン

cryoglobulin

連絡先 3764

球症
陽性を示す疾患-3)肝疾患
 肝硬変, 急性肝炎, 慢性肝炎
陽性を示す疾患-4)腎疾患
 ループス腎炎, 糸球体腎炎

参考文献

飯村康夫. クリオグロブリン. 日本臨床. 1989, vol. 47, no. 増刊上, p.107-110.

青木紀生. パイログロブリン, クライオグロブリンの検査法. Medical Technology. 1978, vol. 6, no. 8, p.

エスアールエル 検査要項

JLAC10

分析物	5A160	クリオグロブリン
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	920	その他

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(SRL⇒LSIM), 報告日数・検査方法変更
3	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
4	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
5	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
6	2021/07/02	2021/07/02～	検体保存条件を変更
7	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
8	2022/03/19	2021/12/27～	採取容器変更
9	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
10	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂

[6626/5A-160-001]

Ver.12

5.免疫学的検査 >> 5A.免疫グロブリン>>5A160 クリオグロブリン

クリオグロブリン

cryoglobulin

連絡先 3764

11	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
12	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定